

非住宅木造建築に関するご相談は、三菱地所グループにお任せください。

スムーズな建築を叶えるワンストップサービス

事業計画のご提案から設計・施工、末長い安心を支えるアフターサポートまで。グループの連携と長年培った技術力・提案力を基盤に、プロジェクトをスムーズに推進いたします。資材調達から建物完成まで幅広く対応いたしますので、まずはお問い合わせください。



下記窓口までお気軽にご相談ください

■ 建築全般についてのご相談



三菱地所ホーム株式会社

ソリューション事業部

Tel 03-6774-2784

<https://www.mitsubishi-home.com/>

東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア7階

三菱地所ホームの
土地活用



■ 建築・資材についてのご相談



株式会社 三菱地所住宅加工センター

営業開発部

Tel 043-242-9065

<https://www.mjkc.co.jp/>

千葉県千葉市美浜区新港228番地4

三菱地所住宅加工センター
ホームページ



S102.22.06.N

三菱地所グループの 木質化追求

WOODEN ARCHITECTURE GUIDE



三菱地所ホーム



三菱地所住宅加工センター

オフィスや事業用施設など、 非住宅建築物にも持続可能な「木」の選択を。

循環型社会への転換が求められている環境の時代。

木材の環境性能の高さから、近年、国内外において木造建築が脚光を浴び、

その価値が見直されています。日本では低層住宅の大半が木造ですが、

技術開発や規制改革の進展からオフィスや店舗、クリニック、倉庫、介護施設など、

人々が働く場所、集う場所づくりにも「木」を選ぶ動きが広がりつつあります。

人と街と自然環境にやさしい木造建築が建ち並ぶ未来へ。

私たち三菱地所グループが、その一翼を担います。

**主伐期を迎えている日本の森林。炭素貯蔵量の多い若い木を植樹し、
森林を新陳代謝させていくためにも、国産材の利用拡大が急務。**

日本の国土の約2/3は森林です。その内約4割をスギやヒノキなどの人工林が占め、大部分が利用適齢期を迎えています。人工林は適切な整備を必要とし、間伐が行われないと木々の成長が妨げられ、森林環境への悪影響を与える他、時には土砂崩れなどの災害を引き起こしかねません。木造建築の増加は木材の需要増を促し、森林資源を循環させ、国内の林業振興、森林保全にも貢献します。

資料：林野庁「令和3年度 森林・林業白書」



image photo

木材を使うことは
人工林のサイクルの一部



「木促法の改正」でさらに加速する木材活用の潮流

2021年10月1日に改正施行された「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」。木材利用促進の対象が、公共建築物から民間建築物を含めた建築物一般に拡大され、官民連携によるさまざまな施策も拡充されました。非住宅や中高層建築物を含む建築物全体の木造木質化で、さらなる木材利用が進むことが期待されています。

人を、想う力。街を、想う力。

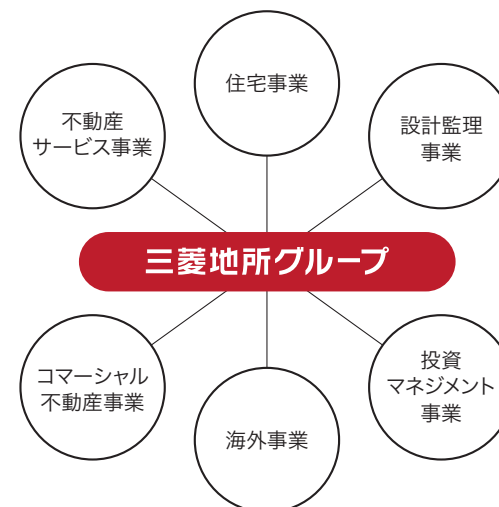
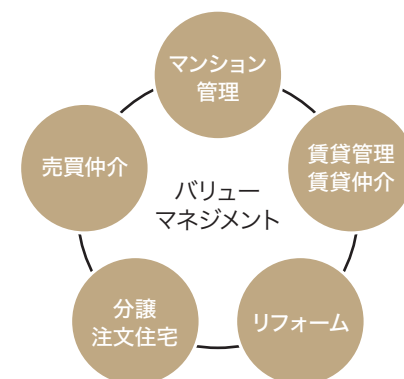
—— 三菱地所グループの強みを原動力に、常に時代の先を行く価値を提供します。——

さまざまなビジネスニーズに応え、魅力的な不動産有効活用をご提案

各事業領域における知見を活かした魅力的なマンションや施設の企画・開発。

さらにはテナント誘致や運営管理、リフォーム、売買まで。

グループの総合力をベースに、真に価値ある不動産有効活用をご提案します。



2022年2月改定後CO2排出量削減目標（2022年3月末日現在、SBTi申請中）

**脱炭素社会の実現に向けて、
新たなグループ全体のCO2等温室効果ガス削減目標を制定**

※各スコープにおける三菱地所グループの主なCO2排出要因は以下の通り。

scope1：熱供給事業、非常用発電機の運転による燃料（ガス、重油）の直接的な燃焼

scope2：購入した電気、熱、蒸気、冷温水などの使用による燃料の間接的な燃焼

scope3：その他事業活動に伴う排出（建築工事、販売した不動産の使用等）

2019年度排出量に対して

**2030年度までに > Scope1+2を70%以上、
Scope3を50%以上削減**

2050年までに > 「ネットゼロ」達成

（Scope1,2,3いずれも90%以上削減。残余排出量は中和化）

**生産から加工、販売まで一気通貫で行う
「MEC Industry株式会社」設立**



MEC Industryは、三菱地所グループをはじめ、各分野に精通した複数の会社によって設立された新会社です。各社のノウハウを活かし、建築用木材の生産から流通、施工、販売まで、一気通貫で行う統合型最適化モデルを構築。より安く、早く、お客様に喜ばれる商品を提供することを目指しています。



木造建築の川上(もり)から川下(まち)まで担う総合デベロッパー

三菱地所グループはグループ各社のリソースを活かし、川上(木材調達)から川下(住宅の施工・販売)まで、安心して高品質な木材・技術を利用できるよう連携。持続可能な社会の実現を目指した木造木質化事業に取り組んでいます。



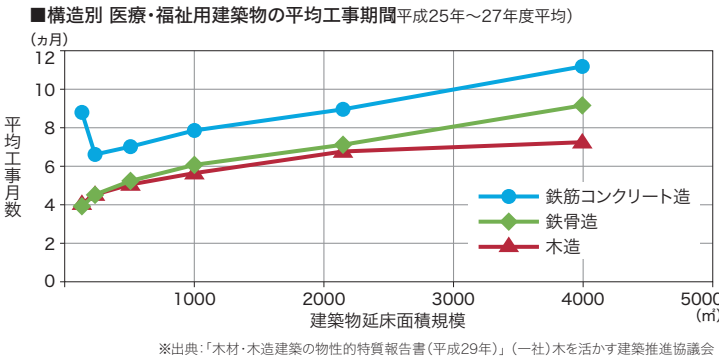
木でつくるメリット①

経済性

コストパフォーマンスに優れています。

木造とすることで比較的短い工期での施工が可能

木造は材料が軽量で運搬しやすく、鉄筋コンクリート造に比べて一般的に工期が短くなります。統計調査資料の「医療・福祉用建築物」の例を見ても、木造の方が工期が短い傾向にあることがわかります。工期が短いとその分、現場での人件費なども抑えられ、案件規模によっては建設コスト面でも大きな優位性を発揮します。



減価償却費による節税効果を期待できる場合も

建物には税制上「法定耐用年数」が定められていますが、実際の建物の寿命とイコールではありません。法定耐用年数は、構造と用途によって異なります。木造は鉄骨造・鉄筋コンクリート造(RC造)と比べて短期に設定されており、キャッシュフローの観点から有利とも考えられます。

■構造別の法定耐用年数 (実際は法定耐用年数以上の利用が可能です)

用途	木造	鉄骨造 (骨格材肉厚4mm超)	RC造
事務所	24年	38年	50年
店舗	22年	34年	39年
住宅	22年	34年	47年
病院・診療所	17年	29年	39年

※参考:国税庁ホームページ「耐用年数(建物／建物附属設備)」

■減価償却上のメリット(概算試算:初年度)

建物面積:2,644.6㎡(800.0坪)
建物価格:880,000(消費税込) 単位:千円

構造(法定耐用年数) ※細目:病院用のもの		木造耐火(17年)	RC造(39年)
収入(経費控除後)		79,200	79,200
支出	固都税※1	3,507	7,643
	減価償却費①※2	54,032	33,704
営業収支(収入-支出)		21,661	37,853
支払利息		17,200	17,200
経常収支(営業収支-支払利息)		4,461	20,653
法人所得税等(実効税率)29.74%		1,327	6,142
税引き後利益②(経常収支-法人所得税等)		3,134	14,511
返済原始①+②		57,166	48,215
元金返済 初年度		36,181	36,181
繰越剰余金		20,985	12,034

<試算の条件>
※1.軽減対象外として建物のみ試算
令和3年度「新築建物課税標準価格認定基準表」(東京都)を根拠に概算試算
※2.附属設備30%として試算
・医療法人等を課税事業者と仮定し、以下の条件で建物を整備してみた場合の試算
・借入:880,000千円(年利2%、20年返済)

年間
約900万円
のメリット

建物完成後のランニングコスト軽減も可能に

建物の運営・維持にもさまざまなコストがかかります。固定資産税・都市計画税では、木造は鉄骨造・鉄筋コンクリート造より評価額が抑えやすく、固都税の軽減が期待できます。火災保険については、耐火木造、準耐火木造で[耐火建築物・準耐火建築物]の区分に該当する建物であれば、鉄骨造・鉄筋コンクリート造と同じ区分の保険料水準が適用されます。

■固定資産税・都市計画税試算(初年度のみ試算)

	課税標準価格(円)	面積(㎡)	想定評価額(円)	固定資産税(円)	都市計画税(円)	固都税合計(円)	コンクリート差額(円)	コンクリート比
木造	78,000	2,644.6	206,278,800	2,887,903	618,836	3,506,740	-4,136,154	45.88%
鉄骨造	170,000	2,644.6	449,582,000	6,294,148	1,348,746	7,642,894	0	100.00%
鉄筋コンクリート造	170,000	2,644.6	449,582,000	6,294,148	1,348,746	7,642,894	0	100.00%

建物用途:病院/建物面積:2,644.6㎡/固定資産税:1.4% ※軽減無として/都市計画税:0.3% 令和3年度「新築建物課税標準価格認定基準表」(東京都)を根拠に概算試算。

■解体時における木造の優位性

解体工事費は重さが大きく関係します。平成28年建設の木造保育園(322㎡)をモデルに、同一条件で構造形式別に見積もりの違いを検証した例によると、木造を1.0とした場合、解体工事費の対木造比は、 木造(W)1.000<鉄骨(S)1.672<鉄筋コンクリート造(RC)1.951 となり、木造の方が解体工事費を抑えられる結果となりました。 出典:(一社)木を活かす建築推進協議会「木を生かした医療施設・福祉施設の手引き」木造建築物の建設に関する一般の特徴P130	鉄骨造、鉄筋コンクリート造との 差額は約413万円
---	------------------------------

参考データ

【建築費ケーススタディ】

[高齢者住宅・倉庫・保育園・共同住宅]の事例をモデルに、同一の規模・条件で構造形式別に建築コスト(概算)の違いをシミュレーションしました。

PLUS POINT 非住宅建築物の木造木質化に活用可能な支援制度も！
木材利用推進のため、林野庁や国土交通省などでさまざまな支援事業を実施しています。建築物の条件等によって利用できる補助金は異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

CASE サービス付き高齢者向け住宅



延床面積約2,066㎡/地上3階建て。床根太にLVL材を使用し、食堂等の空間を実現。木構造の一部には地域産材も使用しています。2×4工法パネルでの施工により、工期短縮・トータルコスト削減が可能になりました。

	木造	鉄骨造
建築費用合計	53,500万円	69,700万円
(坪単価)	(100万円/坪)	(112万円/坪)

CASE 倉庫



延床面積約656㎡/平屋建て。2×4工法で内部空間は20m×32m。LVL材のトラスを採用し、木造ならではの躯体重量の軽さにより、鉄骨造に比べて地盤・基礎工事費用が低減でき、工期も短くトータルコストの削減が可能になりました。

	木造	軽量鉄骨造(システム建築)	重量鉄骨造
建築費用合計	4,200万円	5,300万円	5,500万円
(坪単価)	(21万円/坪)	(27万円/坪)	(28万円/坪)

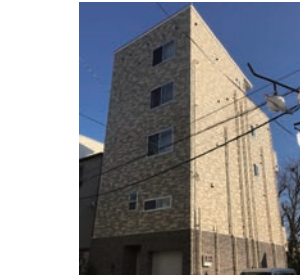
CASE 保育園



延床面積約1,023.4㎡/地上2階建て(3階ペントハウス)。木構造の一部に地域産材を使用。2×4工法にすることで鉄骨造に比べ工期が約1ヶ月短縮、トータルコストも約10%削減できました。

	木造	鉄骨造
建築費用合計	26,300万円	29,400万円
(坪単価)	(85万円/坪)	(95万円/坪)

CASE 中層住宅



延床面積約218㎡/地上5階建て。狭小地を最大限に活かすため、オール木造の2×4工法で施工。1階を2時間耐火構造、2～5階を1時間耐火構造とし、ホームエレベーターも設置。工期は約5～6カ月。鉄筋コンクリート造、鉄骨造に比べ工期短縮・コスト削減が図れました。

	木造	鉄骨造
建築費用合計	7,500万円	8,200万円
(坪単価)	(115万円/坪)	(121万円/坪)

上記ケースの建築費用は、2019年度に三菱地所住宅加工センターにて算出した金額となります。施工条件やプランにより価格は変動しますので、都度お問い合わせください。

| 木でつくるメリット② |

快適性

快適性を高める空間づくりが期待できます。

木材は人にやさしい素材と言われ、心理面・身体面に働きかける様々な効果があります。木材の優れた性質を建物や内装に活かすことで、事務所や福祉施設、医療施設、飲食店など多様な用途で、居心地のいい空間づくり・働きやすい環境づくりが期待できます。

データで見る人にやさしい木のポイント

ポイント1

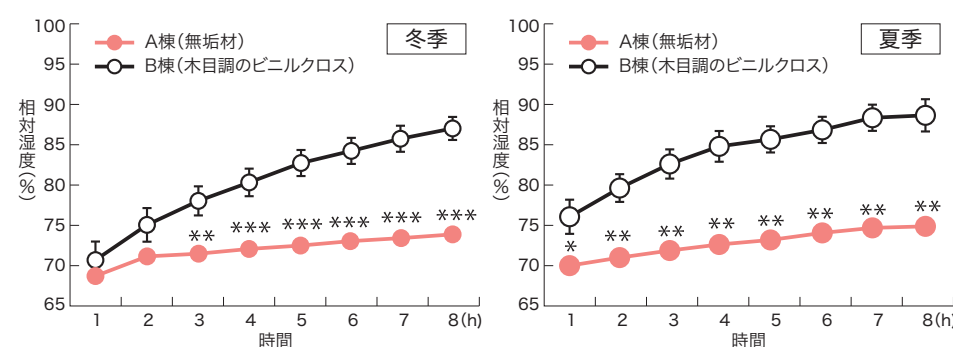
調湿作用

木材を内装に用いると、木材が有する吸放湿作用によって室内空間の湿度上昇が抑えられるため、過ごしやすい環境づくりが可能になります。

A棟(無垢材)の方がB棟(木目調のビニルクロス)よりも湿度が低く保たれています。(図中の※はA棟とB棟に明白な差が認められたことを示す)

出典：本傳見義ほか、日本木材学会九州支部大会講演集、23、II-13-7(2016)より作図

■内装の違いによる室内の湿度変化



ポイント2

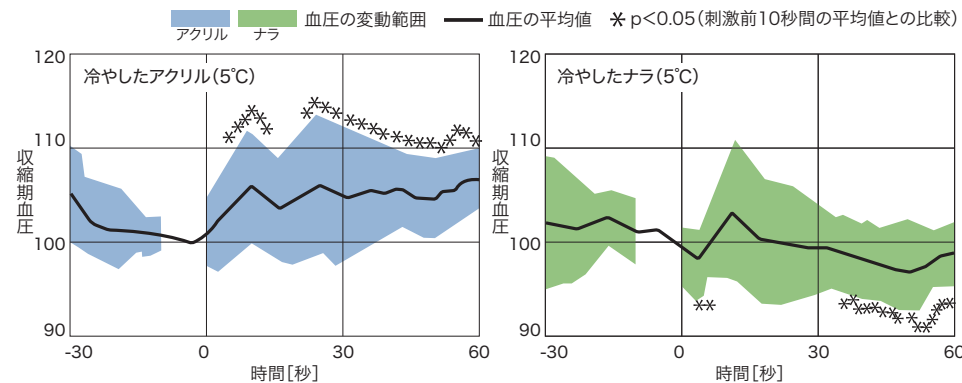
リラックス効果

血圧はストレスがかかると上昇することが知られています。血圧変化を調べる実験では、人が木に触れたときのリラックス効果を示すデータがあります。

木材に触れたときは、室温、低温時にかかわらず、血圧は上昇しません。木材は他の材料と比べ、生理的なストレスを生じさせにくいと考えられます。

出典：櫻川智史ほか、快適空間創生に向けた室内空気質の改善技術、株式会社エヌ・ディー・エス、173(2009)より作図

■異なる温度の材料に手を触れたときの血圧変化の比較



ポイント3

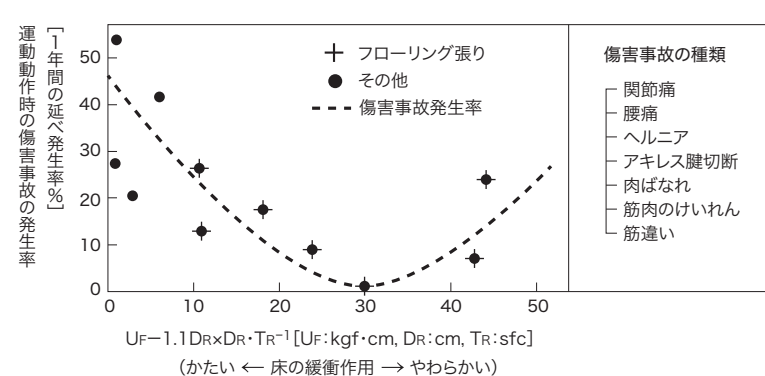
衝撃安全性

木材は衝撃力を吸収する弾性を有しています。「かたさ」を調整した木の床材は、傷害発生率が少ないことが統計的に分かっています。

木の床材に適度なかたさをもたせることで傷害発生率が減少することがわかります。

出典：高橋徹ほか編「木材科学講座5 環境(第2版)」海青社、P.125(2005)より作図

■床のかたさと傷害発生率の関係



| 木でつくるメリット③ |

環境性

建築を通じて地球温暖化防止に貢献します。

木造建築による「第二の森」づくりで、カーボンニュートラルな社会へ。

森林の樹木は、地球温暖化の要因となるCO₂(二酸化炭素)を吸収します。しかし、樹木が高齢化するとCO₂吸収能力が衰えていくため、高齢木を計画的に伐採し、植林して森林の若返りを図ることが必要です。非住宅建築物の木造木質化で、国産材利用を拡大していくことは、森林サイクルを健全に回していくためにも重要。さらに、樹木に吸収された炭素は木材の形になっても木の中に貯蔵されたままなので、木造建築の増加は街なか「第二の森」を広げるような効果があり、脱炭素社会の実現に大きく貢献します。

PLUS POINT

木造木質化を図ることは企業価値向上にも寄与
企業の建物に「木」を用いることは、カーボンニュートラルな社会実現に向けた取り組みとして、SDGsやESG投資への評価、及び企業理念のPRやブランド力アップにつながることが期待されます。

■住宅1戸あたりの炭素貯蔵量と材料製造時の二酸化炭素排出量

	木造住宅	鉄骨 プレハブ住宅	鉄筋 コンクリート住宅
炭素貯蔵量	6炭素トン	1.5炭素トン	1.6炭素トン
材料製造時の炭素放出量	5.1炭素トン	14.7炭素トン	21.8炭素トン

資料：大熊幹章(2003)地球環境保全と木材利用 全国林業改良普及協会54、岡崎泰男、大熊幹章(1998)木材工業、Vol53-No4:161-163より作図

「木」を主体に事業展開する
三菱地所ホームのサステナブルな取り組み

三菱地所ホームのSDGs

三菱地所ホームは、事業を通じてSDGsの達成に貢献したいと考えています。私たちは、総合請負事業会社として高品質・高付加価値な住まいづくりの提案で、人々の暮らし・人生を豊かにしていく使命を果たすと同時に、SDGs、国内の森林資源の活用、脱炭素化という観点から、地球環境に配慮したサステナブルな資源である「木」を活用し、建物の木造木質化事業を推進して、持続可能な社会の実現を目指します。また、環境だけでなく、SDGsに関連するさまざまな社会課題に対して幅広く取り組んで参ります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは

SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)とは2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030 アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。貧困や教育、エネルギーや環境、気候変動など世界が直面するあらゆる課題に関連した17の目標・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

三菱地所ホームは「ZEHデベロッパー」認定を取得しています。戸建住宅のZEH化はもちろん、集合住宅のZEH-M※の普及にも積極的に取り組んでいます。



※ZEH-M(ゼッチマンション)とは/ZEHは(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略称。マンションにおいても、建物の「省エネ」性能を上げ、太陽光発電などによる「創エネ」と組み合わせ、年間の一次エネルギー消費量を削減する段階的な基準が設定されています。

国産材の採用と促進

三菱地所ホームでは、2018年11月より新築注文戸建住宅※を対象に、壁組の縦枠および上下枠に国産木材を標準採用するなど「合法木材、国産木材を積極的に活用した住宅仕様の採用」を促進。国産材のさらなる利用拡大へ向け、施設建築など非住宅分野における積極的な国産材利用に注力しています。

※対象ブランド、仕様により異なります。詳細については担当者にお問い合わせください。

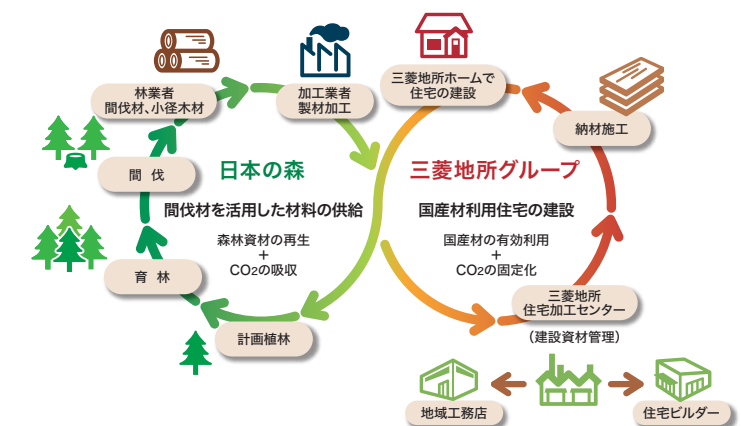
1棟あたりの国産材採用比率は
国内2×4住宅メーカーとして
トップレベルの

82%達成※

※三菱地所ホームの商品 ONE ORDERによる試算値(2021年度実績)

森林経済活動のネットワークで環境と社会に貢献

森林資源の適正利用、国内林業の持続的かつ健全な発展を図るため、三菱地所グループ全体でトレーサビリティの明確な国産材の利用を推進しています。



| 木でつくるメリット ④ |

性能

安心・安全を支える強さがあります。

「燃え進みにくい」性質で、木は鉄より火に耐える

耐火性

2×4工法の構造材程度の太さがある木材なら、燃えても表面が焦げて炭化層をつくり、酸素の侵入をガードして火が内部に入らないようにします。燃焼実験でも、熱によって急に軟化を起こしてしまう鉄と違って、どんなに周囲の熱が上がっても、構造強度が急激に失われることがなく、万一の出火でも初期消火や避難の時間を十分に確保できます。

三菱地所ホームは、木の性質を活かす工法や独自技術で高い耐火性を実現し、防火地域の耐火建築にも対応します。

■木材と鉄骨の燃焼実験



加熱開始後、数分で鉄骨材は変形を始めますが、木材は燃焼が内部まで進まずに強度を保ち続けます。

■燃焼実験に使われた2×4木材

木材は炎にさらされると、表面は燃えて炭化しますが、その炭化層が内部の燃焼をガードする働きをします。

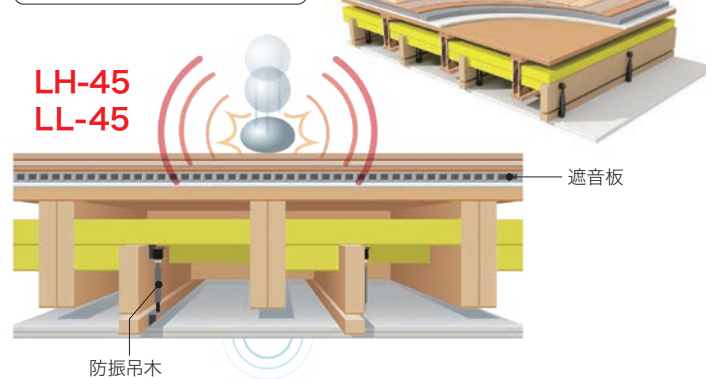


音問題の不安も、現代の木造は革新的技術で克服

遮音性

高齢者住宅や共同住宅など、人が長時間過ごす建物は高い遮音性能が求められますが、木造建築でも設計や仕様の工夫によって、遮音性能の向上を図ることが可能です。三菱地所ホームが開発した高性能遮音床は、一般的な木造建築の遮音性能「LH-65」よりも4ランクも性能が向上した最高レベルの重量衝撃音「LH-45」及び軽量衝撃音「LL-45」を実現。子どもが跳びはねるような大きな衝撃音も大幅に低減します。

※遮音マット付きフローリング採用の場合。
※標準フローリング採用の場合は「LH-45/LL-50」となります。
※上下階が別世帯の場合に採用する仕様です。

2018年度グッドデザイン賞受賞
木造住宅最高レベルの高遮音床

■高性能遮音床システム

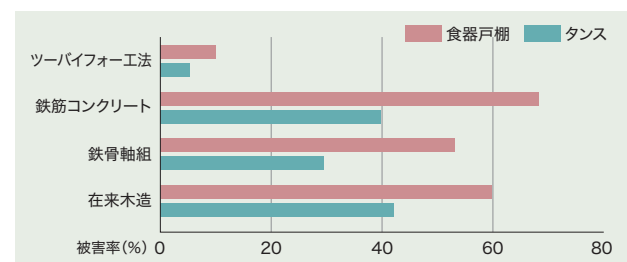
強度を活かす構造体で地震の被害を軽減

耐震性

木造建築は地震に弱いと思われがちですが、さまざまな方法で耐震性を高めることができます。1995年に発生した阪神・淡路大震災後でも2×4住宅には大きな被害がなく、関西エリアで施工していた三菱地所ホームの住まい332棟全ての被害状況調査においても全・半壊は1棟もなし。約65%は損傷も見られませんでした。

■住宅構造タイプによる住宅内部被害率の違い

※戸建住宅以外も含む



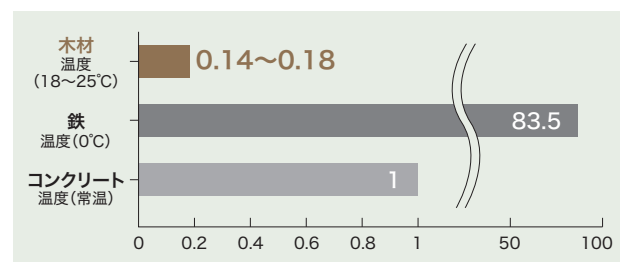
出典：日本建築学会で発表された阪神・淡路大震災住宅内部被害調査報告書(1996年6月)より作成

熱を伝えにくい木は、夏涼しく冬暖かい

断熱性

コンクリートや鉄に比べ、熱伝導率が低い木材。熱伝導率が小さいほど、熱を伝えにくいことを示します。外気の温度変化に左右されにくく、さらに高性能な断熱材を効果的に採用することで、冷暖房によるエネルギー消費を抑制しながら、冬は暖かく夏は涼しい内部環境を実現できます。

■熱伝導率W/(m・k)の比較



出典：国立天文台編「理科年表」(2022年、第95冊)より作成

| 三菱地所グループのテクノロジー ① |

資材

製材・部材の品質に徹底的にこだわります。

構造用資材

建物の根幹となる基礎・構造に、一切の妥協は許されません。三菱地所ホームで利用する構造材は、グループ会社である三菱地所住宅加工センターより供給しています。

三菱地所住宅加工センターは、独自の厳格な基準に基づいた木材の選定、精密な加工、大切な製品を守るための品質管理によって、高精度な製材・部材を安定供給。さまざまな木造建築を支えています。

JASの認証を取得した木材のみを使用

JAS(日本農林規格)認定

JAS※とは、「農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律」に基づいて農林水産省が制定した品質基準および表示基準(日本農林規格)。格付けに合格した製品に、JASマークをつけることを認める制度です。

※Japanese Agricultural Standards

構造用合板



2×4工法住宅の構造耐力上主要な部分に使用される、最も一般的な構造用面材のひとつ。樹種は、最近針葉樹の合板が主流となっています。

構造用集成材 (エンジニアリングウッド)



集成材は、木材の伸縮・強度・品質などの欠点を加工技術によって、工業製品に近い一定の強度と品質を確保して生まれた材料です。

単板積層材(LVL)



丸太を切削した単板(厚さ2~4ミリ)にして乾燥させ、繊維方向が平行になるように接着剤で張り合わせたもの。構造材や造作材として用いられます。

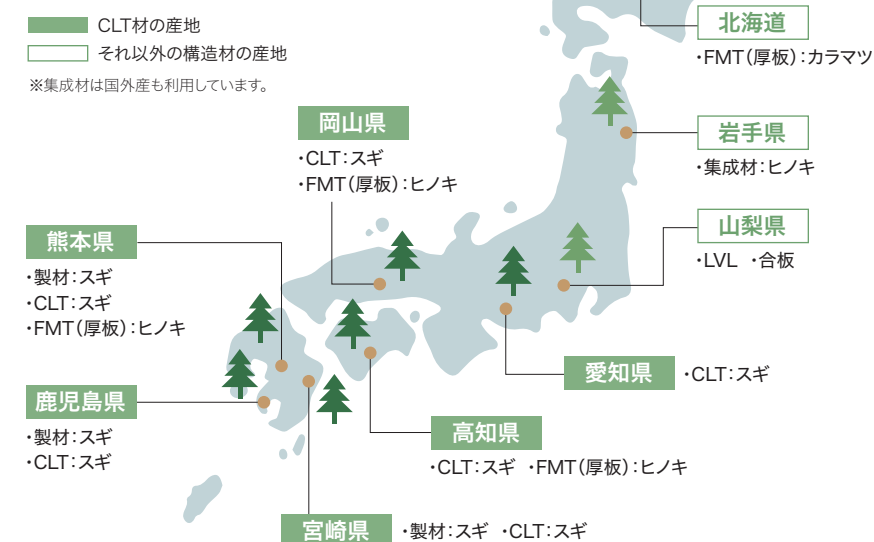
I形ジョイスト



床根太・垂木として、軽量の床や屋根に用いられる木質構造材です。強度があり、ロングスパンの床・屋根を構成することができます。

CLTの活用を推進

三菱地所グループでは、かねてより2×4住宅に小径木や間伐材を積極的に採用するなど、国産の木材を建築に活用してきましたが、近年は「CLT(Cross Laminated Timber)」の利用拡大にも注力しています。



■CLT材イメージ



CLTは、木材板を積層接着した厚型のパネル。大型建築への用途拡大が期待できる建材として注目されています。



三菱地所ホームの「千里ホームギャラリー」の2階床に、国産CLTパネルを採用。伸びやかな軒下空間を実現しています。

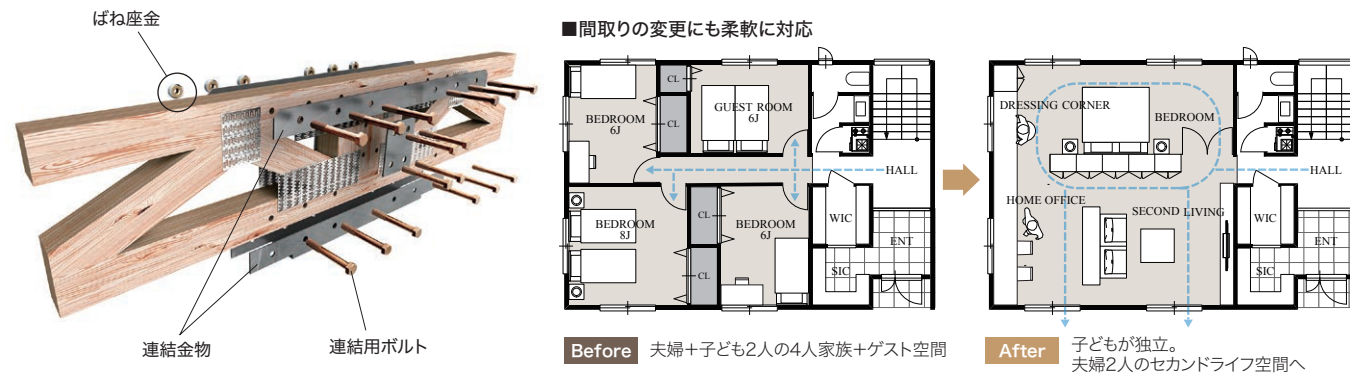
空間創造

独自の構法・技術で大空間を実現します。

スペーストラス

RC造にも匹敵する大空間が可能

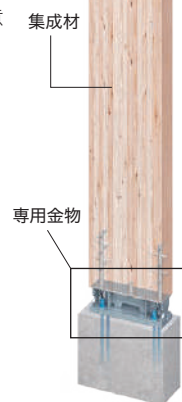
2つのトラス床根太を連結金物を用い、現場で連結することで長尺部材として利用することが可能。敷地条件や搬入車両条件の制限を受けず、最大スパン8P(7.28m)まで可能です。



ハイプロテクトコラム

高強度の耐力壁柱で設計自由度を向上

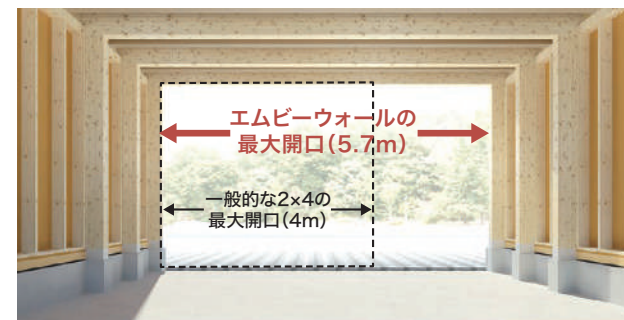
長さ450mmでありながら壁倍率12倍の耐力壁として利用することが可能なため、建物全体の耐力壁が少なく済み、大パノラマ開口や魅力的な意匠表現をすることができます。



エムビーウォール

余裕ある強度で大開口を実現

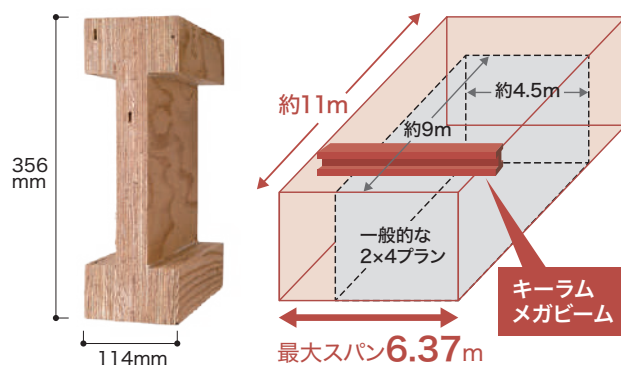
高強度の構造用集成材の柱と梁を接合金物で固定する門型のラーメン構造。壁倍率8倍の強度で、木造でありながら鉄筋コンクリート造と同スケールの、最大5.7mの大開口を実現します。



キーラムメガビーム

自由に使える大スパン空間を創造

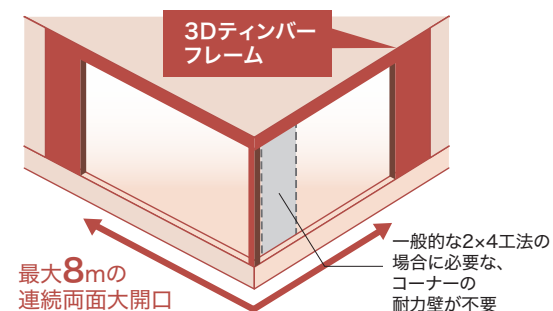
高強度の床根太キーラムメガビームと、高耐力壁のハイプロテクトウォールを組み合わせることで、最大6.37mスパンの、間仕切り壁を必要としない広々とした大空間を可能にしています。



3Dティンバーフレーム

かつてない連続両面大開口を実現

2対の壁柱と梁、隅柱を専用金物で接合した3次元の木質ラーメンフレーム。水平荷重を壁柱が、鉛直荷重をラーメン架構全体が受け止める構造により、コーナー部に最大8mの連続両面大開口を実現します。

2018年度グッドデザイン賞受賞
3Dティンバーフレームによる住宅
「ONE ORDER 浜田山ホームギャラリー」

商業施設や倉庫などに求められる大スパン建築も木造で実現します。

建築の可能性を広げる構造材

CLT
(Cross Laminated Timber)

CLTは木の板を繊維方向が直角に交わるように接着した木材パネルのこと。従来の木材パネルよりも強度が安定し、断熱性にも優れ、大きな可能性を秘めた新しい構造材として国内外で普及が進んでいます。CLTは建築物の様々な部位、多様な工法に適用でき、大スパンや中高層建築も可能です。

三菱地所ホームのモデルハウス「新宿ホームギャラリー」。開放的な連続両面大開口に加え、CLTを床板に使用することで2方向跳ね出しの伸びやかな軒下空間を実現。これまでにない大きな中間領域を生み出します。



高い強度で広い無柱空間を確保

トラス工法

トラス工法は、三角形に接合した部材を基本単位として、その集合を構造体として建築する工法です。工場でトラスの各パーツを生産し、現場で施工します。木造建築の小屋組にトラス工法を導入することで、屋根構面の強度向上や荷重の分散化、高いデザイン性の実現、工期の短縮とトータルコストダウンが見込めます。



トラス工法で建築した倉庫事例。木造でスパンを飛ばすのは難しいと言われていますが、トラス工法なら20mもの大スパンで、天井の高いオープンな空間を創造できます。



店 舗

MJH

多摩産材使用

事業構成員：公益財団法人東京都都市づくり公社(代表法人)、株式会社スタジオ・クハラ・ヤギ、株式会社ハウスメイトパートナーズ

新構法を活用した災害に備える住＋交流の拠点づくり

新構法により高い耐震性能を保ちながらも、従来の木造建築にはない自由なファサードデザインや空間デザインを実現。準耐火木造による耐火性能で、市街地の不燃化にも寄与します。

名称 | 都有地活用による移転先整備事業
(足立区江北地区)
所在地 | 東京都足立区江北
構造規模 | 木造(1階FMT構法)／地上3階
竣工 | 2023年2月竣工予定



外観(西側)イメージパース



みんなの小路イメージパース

東京都が先導する、木密地域の改善促進を目的とした「魅力的な移転先整備事業」に採用されたプロジェクトです。当社が構成員となるグループが提案した「木造による温かな外観に路地空間を計画し、コミュニティを創出する設計」などが、課題解決の手法として高く評価されました。

本計画は、住戸と店舗を併設する木造3階建ての中規模建築であり、テナントが入る1階部分には当社独自の「FMT構法」を採用。多摩産の木材を現し(あらわし)で使用する温かみのある外観や緑の多い外構計画とあわせた共有空間の提案など、木密地域からの移転を促進する仕掛けづくりをしています。



木造の可能性を高めていく。
特許取得の「Flat Mass Timber(FMT)構法」。

ウッドデザイン賞2021受賞
Flat Mass Timber構法を用いた
木造注文住宅「ROBRA」

(特許番号6606623号)

国産ヒノキの集成材厚板パネルと鉄骨梁によるハイブリッド構法。壁や梁などの構造要素が空間内に出てくるのが極めて少なく、フラットで自由なデザインの建築を可能にします。

■ 耐震性の維持

壁倍率最大20倍の高耐力高靱性の構造を利用しているため、耐震性能を維持しながら構造壁量を一般の2×4工法と比べて1/6～1/7に抑えられます。

■ 自由な外壁面デザイン

構造壁を外壁として扱う必要がなくなるため、自由に外壁面をデザインすることが可能です。

■ 跳ね出しスラブの最大化

跳ね出しのスラブは最大3.1m、二方向でも最大2.8m×2.3mまで可能です。

FMT構法の施工現場
(三菱地所ホームモデルハウス)

店 舗

MJH

エリア開発事業の一環として店舗誘致から建築までお手伝い

13,000㎡を超える農地の開発事業です。全体企画の立案から造成工事、建物の建築までトータルに請け負い、店舗エリアには「むさしの森珈琲」をはじめとする3店舗を誘致、建設を行いました。

名称 | 松戸新田プロジェクト
所在地 | 千葉県松戸市松戸新田
構造規模 | 木造(在来工法)／地上1階
竣工 | 2019年1月



「高原リゾートの珈琲店」というデザインコンセプトを踏襲し、広々とした店舗に104席を確保。ロードサイドの3店舗建設に加え、ご自宅の建て替え及び25棟の建売分譲も実現しています。

店 舗・事務所

MJKC

京都府産材使用

2×4工法を取り入れた関西初の木造大型商業ビル

1階を鉄筋コンクリート造、上階の4層を木造とすることで、コストパフォーマンス、省エネ、環境への配慮を実現。国土交通省の「地域型グリーン化事業」において「優良建築物」にも採択されています。

名称 | SU・BA・CO(巢箱)プロジェクト
所在地 | 京都府向日市
構造規模 | RC造(1階)＋木造(2×4工法:2～5階)／地上5階
竣工 | 2016年8月



地域活性化を発信する建物を目指し、複数の企業が参画した「SU・BA・CO(巢箱)プロジェクト」。2×4工法を導入したことでコスト面のメリットに加え、大型商業施設でも施工納期を格段に短縮できました。



事務所

MJH

3階の木造空間が癒しをもたらすオフィスビル

建て替えにあたり、鉄筋コンクリート造と一部木造の混構造を採用。3階を木造とすることで構造負荷を低減し、事業主が強く希望された見渡しの良いオフィスフロアを実現しました。

名称 | 品川区戸越オフィスビル
所在地 | 東京都品川区戸越
構造規模 | RC造＋一部木造／地上3階・地下1階
竣工 | 2020年11月

地方にある工場からも社員が集まる3階研修・会議室は木をふんだんに使用し、1・2階のクールなオフィス空間とは印象の違う癒しの空間を提案しました。



事務所

MJJC

長野県産材使用

新しい木造技術を取り入れた空間づくり

2×4工法で実現した純木造4階建て建築です。延床面積は約400㎡、高倍率壁（14倍）を四隅に配置することで大開口・大空間を可能にしました。信州カラマツ合板を使用し、地域との連携、地産地消を推進しています。



名称 | M本社ビル
所在地 | 長野県
構造規模 | 木造（2×4工法＋CLT）／地上4階
竣工 | 2018年2月



店舗

MJJC

街中の狭小地でも 中層ビルを施工可能に

商店街のような、鉄骨やコンクリートなど重量物の搬入や揚重が厳しい環境、重機が使用できない状況でも、フレキシブルな技術で5層の木造ビルを可能にしました。

名称 | 木屋町のはりビル
所在地 | 京都府
構造規模 | 木造／地上5階
竣工 | 2020年9月



共同住宅

MJH

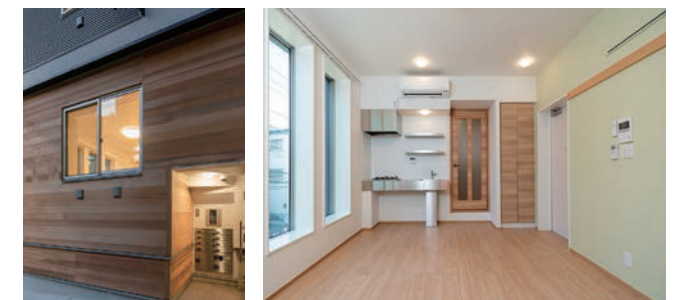
MJJC

防火地域に建つモダンな外観の 賃貸マンション

外観に木製サイディング、タイル、ガルバリウム鋼板など多彩な素材を用いて動きのある外観を構成。2×4工法の「耐火建築物」にて計画しています。

名称 | The Park Maison黒江屋
所在地 | 東京都中央区佃
構造規模 | 木造（2×4工法）／地上4階
竣工 | 2019年11月

カナダ林産業審議会
第3回COFI中層木造建築
デザインアワード入賞
都市部の狭小敷地における新しい建築形式



間取りは1Kタイプで天井高2.6mを確保。大型FIX窓を採用し、採光と展望の良さを実現しました。

店舗併用共同住宅

MJJC

神奈川県産材使用

地域産材を活用した 環境配慮型の 中高層複合ビル

1階から4階まで木造建築で計画。規模・用途・高さ（階）ともに、地域産材を活用した建物としては湘南エリア初のプロジェクトです。

名称 | 湘南MIYU海友プロジェクト
所在地 | 神奈川県藤沢市
構造規模 | 木造（2×4工法）／地上4階
竣工 | 2021年11月

三菱地所住宅加工センターが構造材を提供したほか、木構造の建方・造作・建具・木造耐火被覆工事を行いました。構造材の一部には神奈川県産材を使用。地産地消することで水源となる森林整備につながり、湘南の海をきれいにすることに貢献します。





介護施設

MJKC 京都府産材使用

人にやさしい 環境配慮としての木造化

構造材の一部に京都府産材を使用することで、地域活性化に貢献。
木造木質化による環境配慮がなされ、介護施設としての温もりも大切にしています。

名称 | T介護施設
所在地 | 京都府京都市
構造規模 | 木造(2×4工法)／地上3階
竣工 | 2018年5月

延床面積2,066㎡、2×4工法で建築。床根太にはLVLを使用し、食堂やデイサービスなどの空間を可能にしました。

福祉施設

MJKC

「おうち」と「病院」のいいとこどり シェアハウス型ホスピス住宅

1時間耐火構造による、純木造4階建て12戸タイプの建物です。
限られた敷地に、木造で最大限の住戸数を可能にしました。

名称 | ファミリー・ホスピス鴨宮ハウス弐番館
所在地 | 神奈川県小田原市
構造規模 | 木造／地上4階
竣工 | 2020年4月



木造の温かさが人気で入居希望者が多く、同じ敷地に2棟目のホスピスを建築することになりました。

クリニック

MJH

特徴ある外観デザインで街のランドマークに

眼科、内科・小児科のクリニック。
コンタクトレンズ検査、レーザー手術に
対応した設備も計画しました。

名称 | Mクリニック
所在地 | 滋賀県彦根市
構造規模 | 木造／地上3階
竣工 | 2009年9月



保育園

MJKC 京都府産材使用



地域産材・木造木質化で叶えた 健やかな保育環境

エンジニアリングウッドを床根太に組み合わせることで
遊戯室の空間を実現。子どもたちにやさしい
環境配慮型の建物であり、京都府産材の使用により
地産地消、地域活性化にも貢献します。

名称 | S保育園
所在地 | 京都府
構造規模 | 木造(2×4工法)／地上2階(3階PH)
竣工 | 2019年3月

ホテル

MJKC 京都府産材使用

街に開かれたホールが交流を生む地産木造ホテル

1・2階を鉄筋コンクリート造とし、3～5階の上層宿泊部分を
2×4工法で建築。構造材に京都府産材、外装材に不燃木材を使用した、
地元職人の手で施工された地域のシンボルとなる建物です。

2020年度グッドデザイン賞受賞
日本初の木造5階建てホテル



名称 | ディスカバー京都長岡京
所在地 | 京都府長岡京市
構造規模 | RC造(1・2階)+木造2×4工法(3～5階)／地上5階
竣工 | 2019年8月

地域住民も利用できる「ホール」を設ける
ことで、旅行者のためだけではない地域に
開かれたホテルとなっています。

福祉施設

MJKC

新工法により床面剛性の向上と工期短縮を実現

新たな木造技術「ハイブリッド工法」を採用した福祉施設。床根太に集成材を使用する
ことで寸法精度が向上し、床レベルの品質向上が図れました。

名称 | ファミリー・ホスピス垂水ハウス
所在地 | 兵庫県神戸市
構造規模 | 木造(ハイブリッド工法)／地上2階
竣工 | 2021年6月

【ハイブリッド工法】

2×4工法と在来工法、それぞれの長所が融合した工法です。

■プラン自由度

開口部のまぐさの省略が可能のため、間取りの自由度が
向上します。※最上階を除く

■シンプルな構造

床組みが集成材使用のため精度が向上。材積が減り、
運搬経費の削減及び現場作業の省力化が図れます。

■床強度

従来の2×4工法が倍率換算2.3に対し、ハイブリッド
工法は倍率換算3.0と床の強度が増加します。



床根太・梁成の違いによる天井スペースを利用して、
配線が容易にできました。

倉庫

MJKC

エンジニアリングウッドの有効活用で大スパンを実現

LVL材で構成されたトラス材の使用で、木造でも20m×32mの大空間が可能となりました。
(現在では最大35mまで対応可能)



名称 | OS倉庫
所在地 | 大阪府
構造規模 | 木造(2×4工法)／
地上1階
竣工 | 2020年2月

展示施設

MJH

岡山県真庭市産CLT材使用

デザイン監修:隈研吾建築都市設計事務所 設計:三菱地所設計 施工:三菱地所ホーム

都市と地方をつなぐレガシーとなるCLTパビリオン

三菱地所グループとして首都圏初(竣工時点)のCLTを使用した計画です。施設全体でのCLT総使用量は約680㎡。シンボリックなパビリオン棟を中心に、CLTの魅力を国内外に広くアピールしました。

名称 | CLT PARK HARUMI
所在地 | 東京都中央区晴海
岡山県真庭市(移設後)
構造規模 | 木造(CLT)+鉄骨造/
パビリオン棟:地上1階、
屋内展示棟:地上2階、
展示別棟:地上1階
竣工 | 晴海2019年11月
真庭市2021年7月(開業)



パビリオン棟



屋内展示棟A棟

三菱地所・岡山県真庭市・隈研吾建築都市設計事務所による共同プロジェクトです。晴海での運用後は解体のうえ岡山県真庭市の国立公園蒜山に移設・再築。サステナブルな価値を体感できる、新たなランドマークに生まれ変わりました。

2020年度グッドデザイン賞受賞
CLTの魅力を伝えるパビリオン

ウッドデザイン賞2020
優秀賞(林野庁長官賞) ライフスタイルデザイン部門
木造建築ならではの都市と地方を結ぶ
循環型経済モデル

研修施設

MJH

設計:三菱地所設計 施工:三菱地所ホーム

「交流・環境・記憶の森」がコンセプトの自社研修施設

三菱地所グループ社員が利用する研修施設であり、歴史ある高輪の森にふさわしい佇まいを木構造で実現。混構造の木使用部は開放性があり、中庭や周辺の緑と一体感ある建築空間となっています。

名称 | 高輪フォーラム
所在地 | 東京都港区
構造規模 | 研修所部分:RC造+木造/地上2階
竣工 | 2013年3月



港区の「みなとモデルCO2固定認証制度」において基準量の10倍の国産材を使用しています。

第4回省エネ・照明デザインアワード
グランプリ受賞 まち、住宅、その他部門
樹木とLED照明を組み合わせたエコで
品格ある空間の創出



オフィスビル

CLT設計:三菱地所設計

CLTを構造材に用いた
先駆的な
8階建て事務所建築

三菱地所グループによるCLTを活用した
オフィスビル第1号物件。耐火CLT床を導入し、
階数に応じて耐火仕様を使い分けることで
高コスト化を回避しています。

ウッドデザイン賞2020受賞
高層非住宅建物におけるCLT利用のモデルケース

外装やエントランス、事務室にも積極的に木を取り入れ、
木の建築をデザインで表現しました。

名称 | PARK WOOD office iwamotocho
所在地 | 東京都千代田区岩本町
構造規模 | 木造(床CLT)+鉄骨造/地上8階
竣工 | 2020年3月



マンション

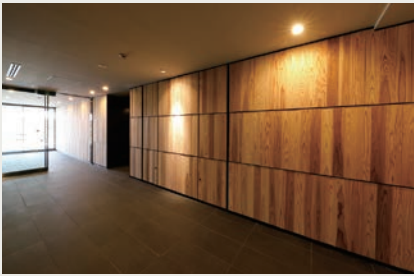
事業主:MEC Industry

日本で初めてCLTを
床材として利用した
高層建築物

床と壁にCLTを構造材として使用し、
高層化に必要な2時間耐火性能も実現。
高い遮音性能も確保した賃貸マンションです。

ウッドデザイン賞2019
最優秀賞(農林水産大臣賞)
日本初となる中高層木造ハイブリッド建築を
実現する技術

名称 | PARK WOOD 高森
所在地 | 宮城県仙台市泉区高森
構造規模 | 木造(CLT床・耐震壁、燃エンウッド®)
+鉄骨造/地上10階
竣工 | 2019年2月



CLTと鉄骨を組み合わせた乾式工法により、鉄筋コンクリート造に比べ工期短縮を実現しました。

観光トイレ

MJH

設計:三菱地所設計 施工:三菱地所ホーム

CLTの「^{あらわ}現し」が木の温もりを
感じる空間を実現

観光施策のひとつとしてトイレを整備。内外装にCLTを活用する
ことで、高いデザイン性と環境配慮を両立しています。

名称 | 堂島公園観光トイレ整備事業
所在地 | 大阪府大阪市北区堂島
構造規模 | 木造(CLT)/地上1階
竣工 | 2021年8月

小さなユニットが集合した分棟
形式とすることで公園の環境に
調和します。





ホテル

北海道産材使用

設計：三菱地所設計

ウッドデザイン賞2021
優秀賞（林野庁長官賞）ハートフルデザイン部門
北海道産材を積極的に活用した
木質感を感じる空間づくり

北海道を体現する 国内初の高層ハイブリッド木造ホテル

名称 | ザ ロイヤルパーク キャンパス 札幌大通公園
所在地 | 北海道札幌市中央区
構造規模 | RC造+木造(床CLT) / 地下1階・地上11階
竣工 | 2021年8月

北海道の木材・石材を建材として活用。
低中層部1～7階が鉄筋コンクリート造+木質化、中層部8階が鉄筋コンクリート造+
木造のハイブリッド造、高層部9～11階は純木造となっています。
3～7階の天井仕上げ材にはMIデッキを活用し、気軽に木を感じられる空間を創造しました。

【MIデッキ】

型枠として使用した後も、そのまま天井仕上げ材に利用可能。
MEC Industryが開発した新しい木製建材です。(特許出願済)

■ 日常の中で「木」を感じられる空間を実現

鉄筋コンクリート造、鉄骨造に「木」を取り入れた新建材です。現し
として使用することで、木質感を活かした空間デザインが可能です。

■ 内装仕上げ材を兼ねる型枠材でコストを削減

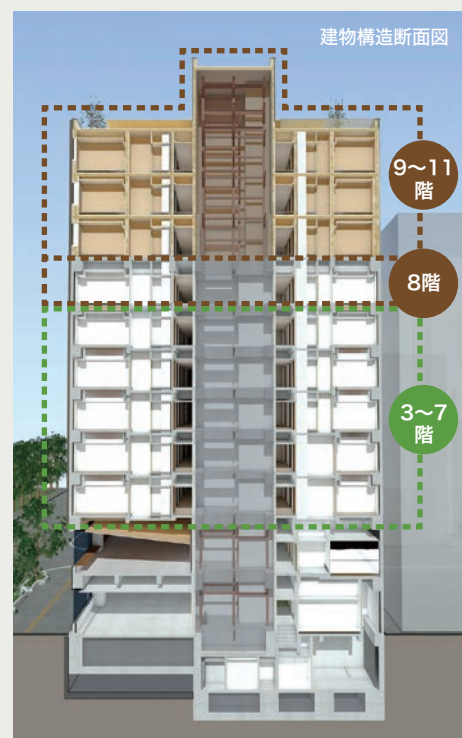
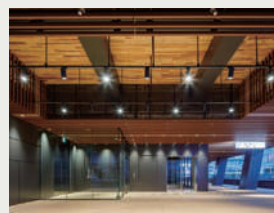
型枠材としての機能を持ちながらそのまま仕上げ材としても活用
可能。本来の天井仕上げ工事に必要な建材を削減でき、コスト
の軽減が図れます。

■ 配筋手間の削減等により施工負担も軽減

支保工の削減・配筋手間の削減・脱型手間の削減・荷揚げ作業
の削減により、施工負担の軽減が実現できます。

■ 国産木材の活用で環境配慮型の建築を実現

国産の木材を使用した建材であり、導入した建築物は炭素固定
効果が発揮されるため、環境問題の解決にも寄与します。



木造化 木質化

事務所

MJH

デザイン監修：有限会社nendo×株式会社IKAWAYA 建築設計 設計・施工：三菱地所ホーム

自然を感じる多様な空間が新しいワークスタイルを創出

ビル全体を木の格子で包み込むような独創的な外観デザイン。
窓辺にワーキング・テラスと大きく開放できる窓を多数設置し、
屋外の空気や街とのつながりが感じられるオフィス空間を実現しました。

部材の仕上げを木質で揃え、オフィスビルにありがちな無機質
な印象を刷新。吹き抜けの「スカイフォレスト」が季節の移ろい
を伝えます。

名称 | KOJIMACHI TERRACE
所在地 | 東京都千代田区麹町
構造規模 | 鉄筋コンクリート造 / 地下1階・地上11階
竣工 | 2018年9月

2019年度グッドデザイン賞受賞
オフィスビルの新たなデザイン提案

■ 内と外を遮断しない設計・デザインの提案

通常のオフィスビルは気密性が高く、空調設備によって完全制御され、外気とのつな
がりをもたないのが一般的です。KOJIMACHI TERRACEは外気の取り込みを重視
した設計とし、建物内に庭(スカイフォレスト)を挿入。アコウ・シマサルスベリなどの
シンボルツリーは、空中に吊り上げ搬入しました。
屋外空間として使用できるさまざまなテラスや大きく開放できる窓を積極的に配置
し、自然換気も行えるオフィスビルの提案となっています。

特徴が最も表現されているのが「編み目」のようなファサードです。サッシや手すりな
ど線的な要素を、木質の仕上げ材及び断面寸法を60mm角に統一し、前後に浮かせ
ながら編み上げることで、これまでのオフィスビルとは異なる表情豊かな外観を生
み出しました。
また、編み目のモチーフは建物内の照明、カーペット、ベンチやサインのデザインにも
展開されています。



会社概要

商号	三菱地所ホーム株式会社 MITSUBISHI ESTATE HOME CO.,Ltd.	事業内容	戸建注文住宅の設計・監理・施工請負（ツーバイフォー工法・RC工法など） 集合注文住宅の設計・監理・施工請負（ツーバイフォー工法・RC工法など） 医院・店舗の設計・監理・施工請負（ツーバイフォー工法・RC工法など） リフォームの設計・監理・施工請負（戸建住宅、集合住宅、商業ビル、店舗など） 住宅建売事業に関する設計・監理・施工請負並びにコンサルティング 土地有効活用のコンサルティング 不動産の仲介・媒介・販売・購入 住宅に関する技術の開発 住宅に関するアフターサービス 土木工事・造園工事・内装仕上工事の設計・監理・施工請負・ アフターサービス・インテリア関連商品の販売 損害保険代理業および生命保険の募集に関する業務
本社	東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア7階		
設立	1984年7月2日		
開業	1984年10月1日		
主要株主	三菱地所株式会社（100％）		
資本金	4億5000万円（三菱地所株式会社出資）	計認可	建設業許可/国土交通大臣（特-29）第11333号 一級建築士事務所登録/東京都知事登録第24824号 宅地建物取引業免許/国土交通大臣（9）第3343号
年商	282億円（2021年3月末実績）		
従業員数	491名	所属団体	一般社団法人住宅生産団体連合会 一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会

沿革

1975年	三菱地所に住宅事業研究室を設置、注文住宅の研究・開発に取り組む	2015年	全館空調システム「エアロテック」に加えオリジナルHEMS（ヘムス）・太陽光発電システム（1.8kW）を自由設計の木造注文住宅に標準搭載
1978年	「Order Housing System」にて注文住宅の受注を開始		
1979年	開発商品ブランド名を「ASSET」と名付け、受注を開始	2016年	富裕層向け都市型邸宅「ORDER GRAN」発表 ゼロエネルギー仕様システム設計住宅「WIZE-H」発表 木造賃貸住宅「The Park Maison」発表 「エアロテック」住宅向けの東京電力オリジナル電気料金メニュー発表 「三菱地所のリフォーム」一般戸建て新リフォームメニュー 「エアロテックリフォーム」発表
1982年	単独展示場"赤坂アセットハウジングギャラリー"オープン		
1984年	三菱地所ホーム(株) 設立、営業開始		
1986年	6シリーズの新商品体系発表（ASSET100・300・500・700・900・1000） ASSET1000に全館空調システムを標準装備		
1991年	全館空調システムを装備した、 新商品「高齢社会対応住宅Lifeterior（ライフテリア）」を開発		
1992年	新商品「超・高気密高断熱住宅on Aerotech（オン・エアロテック）」に セントラル換気システムと全館空調システムを標準装備		
1993年	長期20年保証システム「+10（プラステン）」を導入		
1994年	新商品「太陽光発電住宅」を開発		
1995年	新商品「全館冷暖房換気住宅エアロテック」を発表		
1997年	エアロテック研究所を設立	2017年	みなとみらいに「リフォームショールーム」オープン 『世界に一つを極める。』邸宅での宿泊体験 都市型邸宅の最高品質 「ORDER GRAN」第2弾発表 戸建住宅のビフォー・アフターを同時に体験「リフォームラボ赤坂」オープン
1998年	新商品「免震住宅PIANISSIMO（ピアノシモ）」を発表 全国初の免震ホームギャラリーを江坂住宅博にオープン		
2000年	新商品「環境共生住宅Ecofeel（エコフィール）」を発表	2018年	パッケージ商品「定額制戸建リフォーム」発表 「国産FSC認証材」を床用構造用合板に標準採用 定額制戸建リフォームメニュー「Re Dia HOUSE」発表 赤坂リフォームギャラリーオープン 「浜田山HG」「ボタニカルファニチャー」「高性能遮音床」GD賞トリプル受賞 壁枠組に国産材を全棟標準採用 エアロテック新バージョン「エアロテックFit」発表
2001年	新ブランド名「三菱ホーム」の使用開始 50年建物検診システム「ホームドック50」を導入		
2002年	新商品「都市型住宅u:D（ユードー）」を発表		
2003年	エアロテックを注文住宅に標準装備		
2005年	「エアロテック」のダクトシステムで特許出願	2019年	「エアロテックFitリフォーム」発表 フレーム定額制商品「SMART ORDER Fit」発表 全館空調外販「エアロテックアライアンス事業」発表 「国産CLTスラブを活用したモデルハウスー新宿HG、千里HG」「KOJIMACHI TERRACE」グッドデザイン賞ダブル受賞 新築注文住宅における太陽光発電無償提供サービス事業 「ずっともソーラーforエアロテック」発表 全館空調を標準装備した貸別荘スタイルの宿泊施設 「NASUマルシェ+エアロテック」発表
2006年	エアロテック×オール電化住宅「Ecofeel ME」を発表		
2007年	「ハイサーキュレートシステム」と「ニューメソッドフロアシステム」、 「エコウィンドウシステム」による「SUPER2×4」を 標準化 施工現場の品質管理にプロダクトマネジメントシステムを導入	2020年	集材材耐力壁柱「ハイプロテクトコラム」発表 住宅災害対策「レジリエンスパッケージ」販売開始 FMT構法を採用した木造注文住宅ブランド「ROBRA」発表 深紫外線LEDを採用した「新・エアロテック-UV」発表 マンションリフォーム向け定額商品「Style-Forme」発表
2008年	長期50年保証システム「ロングサポート50」の販売開始 エアロテックの10年保証開始 構造用合板の素材として国産原木を100％採用		
2009年	床枠組材に国産ヒノキ材を標準採用 小規模住宅「セレキューブ」を発売 新エコライフ住宅「エヴァリエ」を発表	2021年	東京都有地活用による移転先整備事業の事業者に選定決定 The Park Maison黒江屋「第3回COFI中層木造建築デザインアワード」入賞 バーチャルモデルハウス「風通しの良い家」公開 顧客体験型プラットフォーム「Online Style Lounge」発表 「エアロテック」が床置き型全館空調システムとして省エネ性能業界No.1へ 「天然木ノンビス工法外装材」グッドデザイン賞受賞 「Flat Mass Timber構法―ROBRA」ウッドデザイン賞受賞
2010年	「空間ヒント。」を発表 環境配慮住宅「セレキューブソーラー」を発表		
2011年	全館空調システム搭載によるゼロエネルギー住宅「ゼロ・エヴァリエ」を発表 山梨県産材の標準採用について発表	2022年	エアロテックに連動「加湿システム」発表
2012年	制震システム「エムレックス」発表 マンションリフォームの新ブランド「三菱地所のリフォーム」スタート 鉄筋コンクリート住宅「レコキューブ」を発表 ゼロエネルギー仕様のスマートハウス「スマート・エヴァリエ」発表		
2013年	木造注文住宅の「長期優良住宅認定」全棟取得について発表 高耐力壁「ハイプロテクトウォール構法」と制震システム「エムレックス」が 2013年グッドデザイン賞を受賞 制震賃貸住宅「M-asset（エムアセット）」販売		
2014年	全館空調「エアロテック-UV」新発売 全館空調「エアロテックのダクトシステム」と 制震賃貸住宅「エム・アセット」が2014年度グッドデザイン賞を受賞		

会社概要

商号	株式会社三菱地所住宅加工センター
本社	千葉県千葉市美浜区新港228番地4
設立	1983年10月11日
資本金	4億円
出資者	三菱地所株式会社 三菱地所ホーム株式会社 三菱商事株式会社
事業内容	建築資材の輸入及び国内販売 建築資材の製造、加工及び販売 建築資材の保管及び管理 建築資材の集荷及び配送 建築の設計、管理及び請負
認定	枠組壁工法製材（JAS）認定工場 千葉工場 JLIRA-A-024 大阪工場 JLIRA-A-056 合法木材供給事業者認定工場 千葉工場 2×4合19-012号 大阪工場 2×4合22-001号 建設業許可／国土交通大臣許可（般-29）第22225号 一級建築士事務所登録/千葉県知事登録第1-1910-8559号
所属団体	一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会 日本ツーバイフォーランバーJAS協議会

沿革

1983年	（株）三菱地所住宅加工センター設立 千葉本社・千葉工場操業開始
1988年	大阪営業所（後に大阪支店に改称）開設
1994年	建設業 県知事許可取得
1996年	売上棟数 2000棟達成
1998年	大阪工場 開設（操業開始）大阪府堺市築港新町
2003年	売上棟数 3000棟達成
2005年	建設業 大臣許可取得
2007年	合法木材供給事業者認定取得
2008年	大阪工場 移設（操業開始）大阪府貝塚市港
2009年	大阪支店（後に関西支店に改称）移設 大阪府貝塚市港 千葉工場・大阪工場 枠組み壁工法構造用製材JAS認証工場
2013年	千葉工場 新工場棟 完成
2019年	一級建築士事務所登録